

■（５６）新聞の保存をどうするか

2013. 7. 19

授業などで新聞をよりよく使うためには、新聞を保存しておくことが必要ですが、どう保存するかは悩ましい問題でもあります。1カ月間ためておいた朝日新聞の朝刊と夕刊を二つ折りにし、ひもできちんととじると、厚さは約7センチ。1年で約85センチになります。意外にかさばらないと思いませんか？ これでも大変だという人には、朝刊だけを保存する手もあります。これだと約65センチになります。さらに、朝刊の外側の4枚、つまり16ページ分ですと、わずか約30センチの厚さです。ただ、この場合には、大きな事件・事故などがあつた時には1日の新聞をそっくり丸ごと保存することを勧めます。

いずれにしても、新聞を裏向き（題字のある1面を下）にして重ねていけば、日付順にそろえられることとなります。1年が過ぎたら、1カ月ごとに必要な部分のみを切り取っておき、他はリサイクルに回していきます。オリンピックやサッカーのワールドカップが開催されている期間の新聞は、4年間は保存するとよいです。

スクラップ帳に切り抜いた記事を貼って保存している人もいます。私の経験では、スクラップはたいへんエネルギーのいる作業です。連載もの、たとえば「ののちゃん」や「天声人語」「ひと」欄などは、1年分を保存してとじるとよいでしょう。

（鈴木伸男・全国新聞教育研究協議会顧問）